



エコアクション21 環境経営レポート

2023年08月01日～2024年07月31日



発行日 2024年11月29日

改定日 2025年2月27日



株式会社三ツ矢鉄工所

目次

1.	組織の概要・対象範囲	-----	P. 3
2.	実施体制	-----	P. 4
3.	環境経営方針	-----	P. 5
4.	環境経営目標	-----	P. 6
5.	環境経営計画	-----	P. 7
6-1.	環境経営計画に基づき実施した取組内容	-----	P. 8
6-2.	その他取組内容	-----	P. 9
	環境月間	-----	P.10
7-1.	環境経営目標の実績	-----	P. 11
7-2.	環境経営計画の取組結果とその評価	-----	P. 12
7-3.	次年度の環境経営目標	-----	P. 13
7-4.	次年度の経営計画	-----	P. 13
8.	環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無	-----	P. 14
9.	代表者による全体の評価と見直し・指示	-----	P. 15

1.組織の概要・対象範囲（2024年8月現在）

事業所名及び代表者氏名

株式会社三ツ矢鉄工所

代表取締役社長 三坂 秀人

所在地

本社・工場 〒471-0036 豊田市広久手町4丁目14番地

物流倉庫 〒471-0036 豊田市広久手町4丁目12番地1

環境管理責任者及び連絡先

環境管理責任者 三宅 貴之(工場長)

TEL (0565)32-6515

FAX (0565)33-4829

E-mail kmituya@chive.ocn.ne.jp

事業活動の内容

自動車部品のプレス加工・溶接加工・組付

事業規模

創立 1964 年

資本金 5,090 万円

売上高 1,196 百万円 (2023年度)

従業員数 26 人

床面積 1,443 m²

HP <https://mitsuyatekkoh.co.jp/>

対象範囲

(株)三ツ矢鉄工所 全組織

活動

前記事業内容のとおり

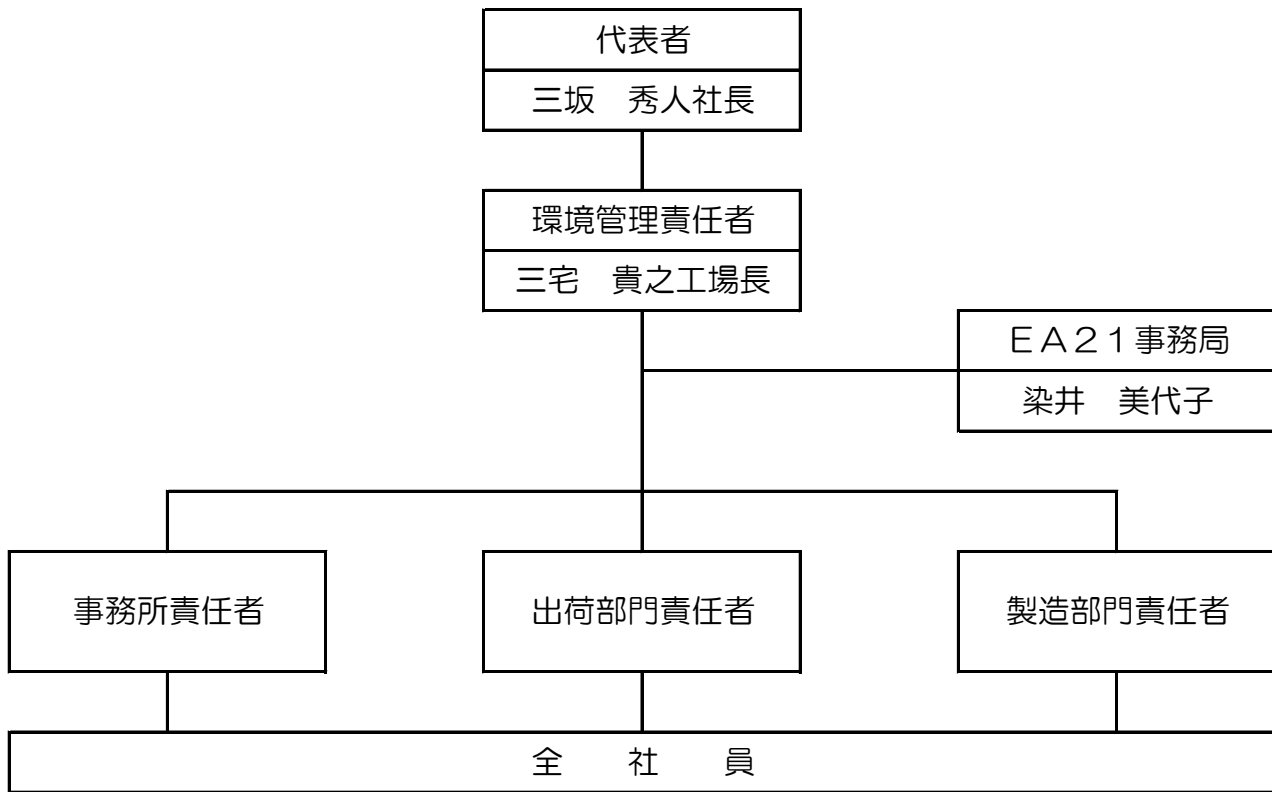
レポートの対象期間及び発行日、改定日

対象期間 2023年08月01日～2024年07月31日

発行日 2024年11月29日

2.実施体制

実施体制図



役割・責任・権限

役割	責任・権限
代表者	経営における課題とチャンスの明確化、取組対象組織の決定、環境経営方針の策定、環境管理責任者の任命などの実施体制の構築、資源（人・設備・費用等）の準備、全体の評価と見直し・指示
環境管理責任者	取組み対象組織の明確化提案、代表者に代わり、環境経営システムを構築・運用・維持し、その状況（環境経営目標の達成状況・環境経営計画の実施状況及び運用結果・環境関連法規の遵守評価の実施・外部からの環境に関する苦情や要望）を代表者へ報告
	教育訓練の実施、外部からの苦情等の受付対応・記録
	環境経営レポートの発行
EA21事務局	環境への負荷の自己チェック、環境への取組の自己チェックの実施
	環境関連法規の取りまとめ、環境経営目標・活動計画の作成
	手順書の作成、緊急事態の想定/訓練の実施
	環境経営レポートの素案作成
部門責任者	自部門の取組みの状況把握、問題点の是正・予防処置と記録
全社員	環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を理解し取組む

3.環境経営方針

環境経営理念

当社は、自動車部品製造の事業活動において、人と技術に優れたベストサプライヤーを目指し安心される良い商品を提供する事を企業理念とします。
また、環境に影響する業務があることを認識し、環境経営システムを構築・運用・維持することにより、環境保全活動を自主的、積極的に推進します。

行動指針

- (1)当社に適用される環境関連法規、同意するその他の環境関連要求事項を遵守します。
- (2)次の事項について具体的な環境経営目標及び環境経営計画を定め取組みます。
 - ①節電・エコドライブの推進に努め二酸化炭素排出量を削減します。
 - ②分別の徹底・リサイクルの推進に努め、廃棄物排出量を削減します。
 - ③節水に努め水使用量を削減します。
 - ④環境に配慮した製品生産方法の改善に努めます。
 - ⑤化学物質の適正管理に努めます。
 - ⑥環境保全に関する地域社会との連携を促進します。
- (3)方針を全社員に周知し、環境経営システムの継続的改善を推進します。



設定日 2013年08月01日
改定日 2018年01月30日

株式会社 三ツ矢鉄工所

代表取締役社長 三坂 秀人

4.環境経営目標

《 3ヶ年 》

作成責任者	環境管理責任者
設定日	2023年08月01日

※環境目標は2021年設定の3ヶ年計画に基づき活動します。

原単位の基本	2021年度年間加工高（百万円）	645
--------	------------------	-----

	評価項目
--	------

環境経営方針の項目	取組みの項目	目標種別	単位	目標			
				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
				基準年度	1%	2%	3%
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO2	78,845	78,057	77,268	76,480
		原単位	kg-CO2/百万円	122	121	120	119
	電力の使用量削減	総量	kWh	199,350	197,357	195,363	193,370
		原単位	kWh/百万円	309	306	303	300
	ガソリンの使用量削減	総量	L	261	258	256	253
	軽油の使用量削減	総量	L	285	282	279	276
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	総量	kg	895	886	877	868
	産業廃棄物の排出量削減	総量	kg	275	272	270	267
水道水量の削減	水使用量の削減	総量	m ³	244	242	239	237
環境に配慮した製品生産方法の改善	加工油と防錆油使用量の削減	総量	L	648	642	635	629
		原単位	L/百万円	1.00	0.99	0.96	0.95
	鋼板歩留り率の向上	歩留り率	%	50.35	50.40	50.45	50.50
地域社会との連携	工場周辺の清掃	総量	回/年	12	12	12	12

- 1.電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度の調整後排出係数0.388kg-CO2/kWhを使用した。
- 2.加工高は売上高から金型売上高と金属屑売上高を引いた値とする。
- 3.一般廃棄物は可燃物、コピー用紙、ダンボール、新聞紙を対象とし、産業廃棄物は廃プラと金属廃棄物を対象とする。（廃油は定常的な排出ではない）
- 4.化学物質は少量使用の為、管理のみとする。
- 5.2020年度より取組項目の加工油使用量削減に防錆油使用量削減も追加した。
- 6.2020年度より取組項目の金属屑排出量の削減を鋼板歩留り率の向上に変更した。
- 7.工場周辺の清掃は月に一度実施する。
- 8.生産量によって実績値が大きく変わる項目については原単位での実績で評価をする。
該当項目：二酸化炭素排出量削減・電力の使用量削減・加工油と防錆油使用量削減
- 9.鋼板歩留り率の向上の目標値は00.1%単位で設定する。
- 10.LPGの基準値を休業日数のない2022年度実績値に変更した。
- 11.水道水量の削減基準値を漏水期間があった2021年から2022年の実績値に変更した。

5.環境経営計画

作成責任者	環境管理責任者
作成日	2023年08月01日

2023年度 ≪ 取組期間 2023年08月01日～2024年07月31日 ≫

環境経営方針 No	環境経営目標	取組み内容	確認方法	担当部署	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
①	電力の使用量削減	エアコン使用時は設定温度を標準化して取組む	点検表	事務所 製造 出荷					1回/Dチェック							→
		エアコンのフィルター清掃を3ヶ月に1回実施する	点検表			→			1回/3M 実施			→				→
		使用時以外の場所は消灯の徹底を図る	点検表						常時実施							→
		配電盤管理要領書を掲示し、節電の徹底を図る	点検表	製造					常時実施							→
		照明器具の電球をLEDに順次切替え	記録	事務所					交換時記録を実施							→
		デマンド装置の監視	監視 パネル	事務所					常時実施							→
	ガソリン・軽油の使用量削減	エコドライブの徹底	ステッカー	事務所 出荷					常時実施							→
		積載物の見直し	ステッカー						常時実施							→
		購入時にエコカーへの切替え	－						車両購入時記録							→
	LPGの使用量削減	湯沸し器稼働時間削減	ステッカー	事務所					常時実施							→
		マイボトルの定着	手順						常時実施							→
②	一般廃棄物の排出量削減	裏紙を使用し、紙使用量の削減	手順	全社					常時実施							→
		私物ゴミの持ち帰りを徹底	手順						常時実施							→
	産業廃棄物の排出量削減	分別の徹底	記録	全社					常時実施							→
		収集業者との分別収集交渉	手順	事務所					随時							→
③	水使用量の削減	節水ステッカーを掲示し節水意識の向上を図る	ステッカー	全社					常時実施							→
		トイレタンクの貯水量の見直し	教育記録	事務所					1回/1M 確認							→
④	加工油使用量の削減	在庫管理の徹底	手順	製造					常時実施							→
	鋼板歩留り率の向上	金属屑排出量の削減	改善資料	事務所 製造					新品品立ち上り毎に実施							→
⑤	化学物質の適正管理	化学物質の購入量と使用量を管理する	点検表	事務所					常時及び新規購入品発生時							→
⑥	工場周辺の清掃	月1回工場周辺の清掃を行う	手順	全社					1回/1M 実施							→
⑦	環境月間	従業員の意識徹底	手順	全社											1回/1Y 6月実施	

6-1.環境経営計画に基づき実施した取組内容

作成者	環境管理責任者
作成日	2023年08月01日

2023年度 ≪ 取組期間 2023年8月01日～2024年7月31日 ≫

環境経営方針 No	環境経営目標	取組み内容	確認方法	担当部署	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
①	電力の使用量削減	エアコン使用時は設定温度を標準化して取組む	点検表	事務所 製造 出荷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		エアコンのフィルター清掃を3ヶ月に1回実施する	点検表			○			○			○			○	
		使用時以外の場所は消灯の徹底を図る	点検表		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		配電盤管理要領書を掲示し、節電の徹底を図る	点検表	製造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		照明器具の電球をLEDに順次切替え	記録	事務所	工場照明はLED照明に交換済。次年度は事務照明のLED化に取組む											
		デマンド装置の監視	監視パネル	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ガソリン・軽油の使用量削減	エコドライブの徹底	ステッカー	事務所 出荷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		積載物の見直し	ステッカー		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		購入時にエコカーへの切替え	—						該当なし							
	LPGの使用量削減	湯沸し器稼働時間削減	ステッカー	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		マイボトルの定着	手順		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
②	一般廃棄物の排出量削減	裏紙を使用し、紙使用量の削減	手順	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		私物ゴミの持ち帰りを徹底	手順		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	産業廃棄物の排出量削減	分別の徹底	記録	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		収集業者との分別収集交渉	手順	事務所			○									
③	水使用量の削減	節水ステッカーを掲示し節水意識の向上を図る	ステッカー	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		トイレタンクの貯水量の見直し	教育記録	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
④	加工油使用量の削減	在庫管理の徹底	手順	製造	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	鋼板歩留り率の向上	金属屑排出量の削減	改善資料	製造												○
⑤	化学物質の適正管理	化学物質の購入量と使用量を管理する	点検表	事務所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
⑥	工場周辺の清掃	月1回工場周辺の清掃を行う	手順	全社	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※評価 ○：計画通り実施 △：一部不十分 ×：未実施

6-2.その他取組内容

活動①避難訓練実施

昨年と同様 地震発生を想定し避難訓練を実施致します。

緊急地震速報から10秒後に地震発生とします。身の安全を第一に考え避難して下さい。

記

1. 日時 2024年7月31日(水) 14:00～14:10
2. 場所 (株)三ツ矢鉄工所 工場・物流倉庫
3. 訓練者 (株)三ツ矢鉄工所 社員
4. スケジュール

14:00	～	地震発生	放送（事務所から）
@事務所からの放送 『10秒後に地震が来ます！地震が来ます！』 『直ぐに身を伏せて下さい！』			
14:02	～	⇒避難開始	//
@事務所からの放送 『揺れがおさまりましたので直ちに避難を開始して下さい』			
14:02		避難	点呼
			避難：放送に従い危険個所回避 点呼：各部署リーダー⇒工場長
避難： リーダーが声掛けし、危険個所を回避しながら 避難場所へ速やかに移動する。 点呼： リーダーがメンバーの点呼をとり、結果を工場長へ 報告する。			
14:05	～	< 講評 >	三坂社長
14:10		訓練終了	



“環境月間”2024



期間：6/3(月)～6/28(金)

「みんなで行動！減らす環境負荷」

スローガン……【全員参加で】

社長メッセージ

今年度も6月を“環境月間”と定め、私たち一人一人が環境に向き合い『全員参加』として考え取り組んでいただき、環境経営目標達成を目指して従業員の皆さんが一丸となった積極的な取り組みを期待します。

環境月間実施事項



		実施事項	実施時期	取り組み内容
告知		環境月間宣言	6/3(月)～28(金)	全員朝一朝礼にて
		環境のぼりの展開		工場での環境のぼり活動
学習		・活動ピラ特集	6/3(月)全員集会	環境月間行事計画案内の展開 みなさんと活動を共有し意識高揚に繋げる
実戦	環境	環境講演会	5/6(月)～10/31(木)	豊田鉄工(株)環境講演会への参加
		クールビズの展開		賢い選択で冷房温度の適正化、ノーネクタイなど軽装対応の推進
		TIW改善事例コンクール参加	6/3(月)～8/1(木)	会社及び各家庭でエコな活動を実施している事例の紹介
		省エネパトロール	6/3(月)～28(金)	環境管理責任者と事務局が昼休み見回り
		ライトダウン	6/7(金)&夏至日	定時帰宅推奨日
	防火・防災	意識高揚活動	6/3(月)・17(月)	役員による全員朝礼時に環境・防火・防災の訓話
		初期消火・避難訓練	7/31(水)	全員参加で避難訓練及び管理者による初動確認
		着火物・可燃物・危険物巡回確認	6/10(月)・24(月)	トップ及び役員によるマップによる現地現物確認



【工場周辺美化活動】



【全社一丸の取り組み】



【7°以機周辺の2S活動】



【出荷ヤードの2S活動】

7-1.環境経営目標の実績

原単位の基本	2021年度年間加工高（百万円）	645
	2023年度年間加工高（百万円）	1,020

作成責任者	環境管理責任者
作成日	2024年08月01日

2023年度 << 取組期間 2023年08月01日～2024年07月31日 >>

評価項目

環境経営方針の項目	取組みの項目	目標種別	単位	2023年				
				実施期間は8月～7月				
				基準値	削減目標2%	実績値	達成率	評価
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO2	78,845	77,268	91,409	84.5%	
		原単位	kg-CO2/百万円	122	120	90	133.3%	○
	電力の使用量削減	総量	kWh	199,350	195,363	233,967	83.5%	
		原単位	kWh/百万円	309	303	229	132.3%	○
	ガソリンの使用量削減	総量	L	261	256	132	193.9%	○
	軽油の使用量削減	総量	L	285	279	65	429.2%	○
	LPGの使用量削減	総量	kg	54	53	52	101.9%	○
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	総量	kg	895	877	1,011	86.8%	×
	産業廃棄物の排出量削減	総量	kg	275	270	909	29.7%	×
水道水量の削減	水使用量の削減	総量	m ³	244	239	250	95.6%	×
環境に配慮した製品 生産方法の改善	加工油と防錆油使用量の削減	総量	L	648	635	918	69.2%	
		原単位	L/百万円	1.00	0.96	0.90	107.2%	○
	鋼板歩留り率の向上	歩留り率	%	50.35	50.45	49.45	98.0%	×
地域社会との連携	工場周辺の清掃	総量	回/年	12	12	12	100.0%	○

- 1.電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度の調整後排出係数0.388kg-CO2/kWhを使用した。
- 2.加工高は売上高から金型売上高と金属屑売上高を引いた値とする。
- 3.一般廃棄物は可燃物、コピー用紙、ダンボール、新聞紙を対象とし、産業廃棄物は廃プラと金属廃棄物を対象とする。（廃油は定常的な排出ではない）
- 4.化学物質は少量使用の為、管理のみとする。
- 5.2020年度より取組項目の加工油使用量削減に防錆油使用量削減も追加した。
- 6.2020年度より取組項目の金属屑排出量の削減を鋼板歩留り率の向上に変更した。
- 7.工場周辺の清掃は月に一度実施する。
- 8.生産量によって実績値が大きく変わる項目については原単位での実績で評価をする。
該当項目：二酸化炭素排出量削減・電力の使用量削減・加工油と防錆油使用量削減
- 9.鋼板歩留り率の向上の目標値は00.1%単位で設定する。
- 10.LPGの基準値を休業日数のない2022年度実績値に変更した。
- 11.水道水量の削減基準値を漏水期間があった2021年から2022年の実績値に変更した。

7-2.環境経営計画の取組結果とその評価

作成者	環境管理責任者
作成日	2024年8月1日

2023年度 ≪ 取組期間 2023年08月01日～2024年07月31日 ≫

環境経営目標	結果	評価
	達成率	
二酸化炭素排出量の削減	○	全ての取組項目で目標を達成できたが、電力原単位の改善が最たる要因である。
	133.3%	
電力の使用量削減	○	加工高が増加した事で使用量は増加したが、原単位では目標達成できた。各プレス機の負荷を平準化した事で残業時間での稼働率が向上した。
	132.3%	
ガソリンの使用量削減	○	web会議が主流となり、出張回数を大幅に削減できた。
	193.9%	
軽油の使用量削減	○	取組期間内にトラックを売却した事による。次年度から取組項目から削除する。
	429.2%	
LPGの使用量削減	○	手洗い場の給湯器に夏場の使用禁止のステッカー明示を行ったことにより、使用量微減となった。
	101.9%	
一般廃棄物の排出量削減	×	加工高が増加した事により排出量は増加したが、排出量÷加工高の原単位に置換えて見ると、基準年度が1.39、本年度は0.99となり大幅に削減していることが分かる。次年度より原単位での実績で評価を実施する。
	86.8%	
産業廃棄物の排出量削減	×	部品の入れ替わりにより、不要箱等を処分した事による。
	29.7%	
水使用量の削減	×	基準値を昨年度実績に変更した。昨年度と比較すると加工高が14%上がっているため加工高での原単位で見ると削減出来ている。節水に対して従業員意識が高まっている。次年度からは原単位での実績評価を実施する。
	95.6%	
加工油と防錆油使用量の削減	○	防錆油塗布量を減らした事により使用量の削減に繋がった。次年度は部品の選定を行い塗布する製品と塗布しない製品に分けて、更に削減に努める。プレス加工油は増加となった。引き続き、プレス加工油レス活動を実施していく。
	107.2%	
鋼板歩留り率の向上	×	新部品の立上りで形状が複雑で、歩留り率が悪い製品に入れ替わった事で目標未達となった。歩留り率50%を下回らないよう、引き続き改善を行っていく。
	98.0%	
工場周辺の清掃	○	計画的に実施出来た。
化学物質の適正管理		適正に管理出来た。

1.生産量によって実績値が大きく変わる項目については原単位での実績で評価をしている。

該当項目：二酸化炭素排出量・電力の使用量・加工油と防錆油の使用量

2.化学物質は少量使用の為、管理のみとする。

7-3.次年度の環境経営目標

《 2024年度 》

作成責任者	環境管理責任者
設定日	2024年08月01日

※環境目標は2021年設定の3ヶ年計画に基づき活動します。

原単位の基本	2021年度年間加工高（百万円）	645
--------	------------------	-----

	評価項目
--	------

環境経営方針の項目	取組みの項目	目標種別	単位	目標			
				2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
				基準年度	1%	2%	3%
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	総量	kg-CO2	78,845	78,057	77,268	76,480
		原単位	kg-CO2/百万円	122	121	120	119
	電力の使用量削減	総量	kWh	199,350	197,357	195,363	193,370
		原単位	kWh/百万円	309	306	303	300
	ガソリンの使用量削減	総量	L	261	258	256	253
	LPGの使用量削減	総量	kg	54	53	53	52
廃棄物の排出量削減	一般廃棄物の排出量削減	総量	kg	895	886	877	868
		原単位	kg/百万円	1.39	1.36	1.35	1.31
	産業廃棄物の排出量削減	総量	kg	275	272	270	267
水道水量の削減	水使用量の削減	総量	m ³	244	242	239	237
		原単位	L/百万円	0.38	0.37	0.36	0.36
環境に配慮した製品生産方法の改善	加工油の削減	総量	L	504	499	494	489
		原単位	L/百万円	0.78	0.77	0.75	0.74
	防錆油使用量の削減	総量	L	144	143	141	140
		原単位	L/百万円	0.22	0.22	0.21	0.21
	鋼板歩留り率の向上	歩留り率	%	50.35	50.40	50.45	50.00
地域社会との連携	工場周辺の清掃	総量	回/年	12	12	12	12

- 電力の二酸化炭素排出係数は中部電力の2021年度の調整後排出係数0.388kg-CO2/kWhを使用した。
- 加工高は売上高から金型売上高と金属屑売上高を引いた値とする。
- 一般廃棄物は可燃物、コピー用紙、ダンボール、新聞紙を対象とし、産業廃棄物は廃プラと金属廃棄物を対象とする。
(廃油は定常的な排出ではない)
- 化学物質は少量使用の為、管理のみとする。
- 2020年度より取組項目の加工油使用量削減に防錆油使用量削減も追加した。
- 2024年度より取組項目の加工油使用量削減を防錆油使用量削減を項目を分けた。
- 2020年度より取組項目の金属屑排出量の削減を鋼板歩留り率の向上に変更した。
- 工場周辺の清掃は月に一度実施する。
- 生産量によって実績値が大きく変わる項目については原単位での実績で評価をする。
該当項目：二酸化炭素排出量削減・電力・水使用量削減・加工油と防錆油使用量削減（一般廃棄物 2024年度変更）
- 鋼板歩留り率の向上の目標値は50%を下回らないようにする事と変更する。
- LPGの基準値を休業日数のない2022年度実績値に変更した。
- 水道水量の削減基準値を漏水期間があった2021年から2022年の実績値に変更した。

7-4.次年度の環境経営計画

《 2024年度 》

次年度も今年度の経営計画を持続します。

8.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟などの有無

作成者 環境管理責任者
作成日 2023年08月01日
評価日 2024年08月01日

下記当社に適用される環境関連法規等の遵守状況の確認結果、苦情、違反、訴訟等の指摘はありませんでした。
なお、関係当局からの違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありませんでした。

法の名称	遵守・管理項目	遵守
廃棄物処理法	・委託契約書締結・県知事許可証の確認	○
	・掲示板を設け必要事項の記載	○
	・飛散・流出・地下浸透の防止	○
	・マニフェストを発行し、5年間保管する	○
	・6月末までにマニフェスト交付状況の報告	○
	・1年間に1度委託先の現地確認（優良認定業者に委託している）	○
騒音規制法	・騒音測定を行う（2ヶ月毎）	○
	・規制基準値の厳守	○
	・公害防止管理者の選任・届出	○
	・公害防止統括者の選任・届出	○
	・特定施設設置の届出	○
振動規制法	・振動測定を行う（4ヶ月毎）	○
	・規制基準値の厳守	○
	・公害防止管理者の選任・届出	○
	・公害防止統括者の選任・届出	○
	・特定施設設置の届出	○
家電リサイクル法	・リサイクル料金の支払い	—
	・管理票の写しを受取る	—
フロン排出抑制法	・業務用エアコンの修理、廃棄時に登録業者に委託	—
	・フロン漏えい簡易点検の四半期ごとの実施及び記録	○
県民の生活環境の保全等に関する条例（アイドリングストップ）	・社用車のダッシュボードにアイドリングストップのステッカーを貼る	○

※該当なしは遵守項目に — を表示

9.代表者による全体の評価と見直し・指示

活動全体の評価	
1.環境経営目標の達成状況	取組み11項目中7項目については目標達成 4項目が未達という結果となりました 全従業員の環境意識向上と、現在の取り組み内容を地道に継続推進 *未達項目 1. 一般廃棄物排出量削減 3. 水使用量の削減 2. 産業廃棄物排出量削減 4. 鋼板歩留り率の向上
2.環境経営計画の実施・運用結果	1. 一般廃棄物排出量削減 加工高増加（排出量/加工高での原単位削減効果は出ている） 2. 産業廃棄物排出量削減 新・旧部品の入れ替わりにより不要ポリ箱の廃却を実施。 3. 水使用量の削減 加工高増加（排出量/加工高での原単位削減効果は出ている） 4. 鋼板歩留り率向上 形状の複雑化により悪化、歩留まりを意識した形状提案など活動を継続
3.環境関連法規等の遵守状況	環境関連法規等の違反はありません。
4.外部からの環境関連の 苦情や要望	特にございません。

変更等の見直し	見直しの内容
1.環境経営方針の変更 ☐ 有 ☒ 無	
2.環境経営目標及び環境経営計画の変更 ☒ 有 ☐ 無	21年度基準環境経営目標に基づき活動を継続推進、一般廃棄物及び水使用料については加工高を考慮し原単位評価として推進して行く。
3.環境経営システムの変更 ☐ 有 ☒ 無	
4.実施体制の変更 ☐ 有 ☒ 無	

2024年11月29日
代表取締役社長 三坂秀人